

レクチャーコンサート～音楽に導かれて～によせて

国民学校(現小学校)5年生の時、原爆を疎開先で体験し終戦を迎えた私はそれまで音楽的な環境とは無縁でした。中学生になって始めたピアノに夢中になり、父親の反対を押し切って高等学校を音楽の専門コースに進んだことで、以来70数年音楽に携わることになりました。学校教育での音楽教員として、演奏者として、合唱などの音楽指導者としての3つの道を歩んできましたが、振り返って思うのは、いつも「音楽に導かれていた」「音楽を通して多くの人に導かれ支えられていた」と感慨入なのです。自分を語ることは慎むべきかと思っていましたが、今回「コール・ブルーメ」の人たち、音楽上でのパートナー、ピアニストの戸田真理さん、シター奏者の白井朝香さんの協力を得てレクチャーコンサートを開くことになりました。ご来聴いただければ幸いです。

益田 遙



白井 朝香 (シター)

広島在住のヴァイオリン、シター奏者。エリザベト音楽大学卒業。新広島フィルハーモニー管弦楽団首席奏者、ノートルダム清心弦楽部顧問などを務める。2009年世界平和記念聖堂での演奏をきっかけに「祈りの楽器」シターの奏者としてデビュー。2010年光の響サロンをオープン。2013年宮島観光大使に任命され、2015年青少年国際未来会議ひろしま、国連軍縮会議レセプション、平和首長会議などで演奏。海外においては、姉妹都市である韓国大邱、ハノーファーやパリ、モンサンミッシェル、南仏、イタリアなどで公演。被爆70年に鑑みてリリースしたCD「海を渡る祈りの響き」がANA国際線での機内オーディオに起用されるなど、国内外を問わず音楽を通じた活動の場を拡げている。

戸田 真理 (ピアノ)

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ科卒業。広島市新人演奏会に出演。米国ワイオミング州立大学大学院より奨学金を受け3年間在籍。Performers Certificateを取得。クロード・フランクのマスタークラス受講。ドロシー・A・アンダーソン国際ピアノコンクール(米国)にて第3位入賞(2位なし)。第65回日本演奏連盟推薦新人演奏会のオーディションに入賞し広島交響楽団と共演。また、ハンガリーのコダーイ弦楽四重奏団、広島アカデミー合奏団などと共演。フランス、ナンシーにおいて夏季セミナーに参加し研鑽を積む。これまでに、故宮脇博、故井上一清、坪田昭三、田隅靖子、G.スマート、T.レイベンスクロフト、E.ロザノワ各氏に師事。平成25年～29年広島音楽高校非常勤講師。現在、広島文教大学非常勤講師、コールブルーメピアニスト、ドイツリート協会会員、呉市音楽家協会会員、アピアチェレ・エムメンバー。

コール・ブルーメ(合唱)

1986年「アンサンブル ゆう」として発足した後、1990年に「コール・ブルーメ」と改称して現在まで一人一人が自然な美しい発声と音楽の表現を目指して、毎週火曜日の練習に励んでいる。11回の演奏会開催、29回連続出場している「全日本おかあさんコーラス広島県大会」では中国支部代表として9回全国大会に出場した。今年5月に開かれた「けんみん文化祭ひろしま'19 第6回広島市の祭典」に初出場し「グランプリ」を受賞した。現在30才台から80才台の30余名が指揮益田遙、ピアノ戸田真理のもとで、心一つにして美しいハーモニーを奏でたいと集っている。



次回公演のご案内

9月中旬
チケット
発売予定

『坪北 紗綾香』プロデュース

世界遺産の映像でめぐるヨーロッパ歌曲旅行
～歌曲からシャンソンまで～

2019年12月13日(金)
14時開演・スタジオ1
前売1,500円・当日2,000円

出演者:林 裕美子(Sop)・柴田 美穂(Pf)
甲斐 摩耶(Vn)・西森 正明(映像) 他



11月上旬
チケット
発売予定

『寺沢 希』プロデュース

広島から生まれた“三つの叙情”
～平塩清種・Steve Dobrogosz・村下孝蔵～

2020年2月6日(木)
14時開演・スタジオ1
前売1,500円・当日2,000円

出演者:昆野 智佳子(Sop)・今田 陽次(Br)
平塩 清種(詩人)・山下 雅靖(Pf) 他

